

今回のワクチン接種の目的について

インフルエンザワクチンは、

- ・重症化等の防止については、一定の効果が期待
- ・感染防止の効果は、保証されていない。



○今回のワクチンの接種の目的は

- ①死亡者や重症者の発生をできる限り減らす
- ②患者が集中発生することによる医療機関の混乱を極力防ぎ、必要な医療提供体制を確保する

<感染防止を目的とするものではないことに留意>

優先的に接種する対象者について

対象者		人数	
優先接種対象者	①インフルエンザ患者の診療に直接従事する医療従事者(救急隊員含む。)	約100万人	
	②	妊婦	約100万人
		基礎疾患を有する者	約900万人
	③1歳～小学校3年生に相当する年齢の小児	約1,000万人	
④・1歳未満の小児の保護者 ・優先接種対象者のうち、身体上の理由により予防接種が受けられない者の保護者等	約200万人		
その他	小学校4～6年生、中学生、高校生に相当する年齢の者	約1,000万人	
	高齢者(65歳以上)(基礎疾患を有する者を除く)	約2,100万人	
		約5,400万人	



上記以外の者に対する接種については、優先的に接種する者への接種事業の状況等を踏まえ、接種を進める。(具体的な接種開始時期等の接種の進め方については、輸入ワクチンの状況等を踏まえ、来年1月を目途に提示)

ワクチンの確保について

- 今年度末まで、国内産ワクチン5,400万回分^(注)程度を確保するとともに、海外企業から9,900万回分^(注)程度を確保見込み。

国内

- ・10月19日(月)の週から順次接種開始
- ・第6回出荷(12月18日)分までに約2,100万回分^(注)を出荷
- ・年度内に約5,400万回分^(注)を確保予定

輸入

- ・輸入ワクチンの確保のために必要な立法措置を実施
- ・現在、承認申請中
- ・年度内に約9,900万回分^(注)を確保予定

(注)回数 は成人量換算

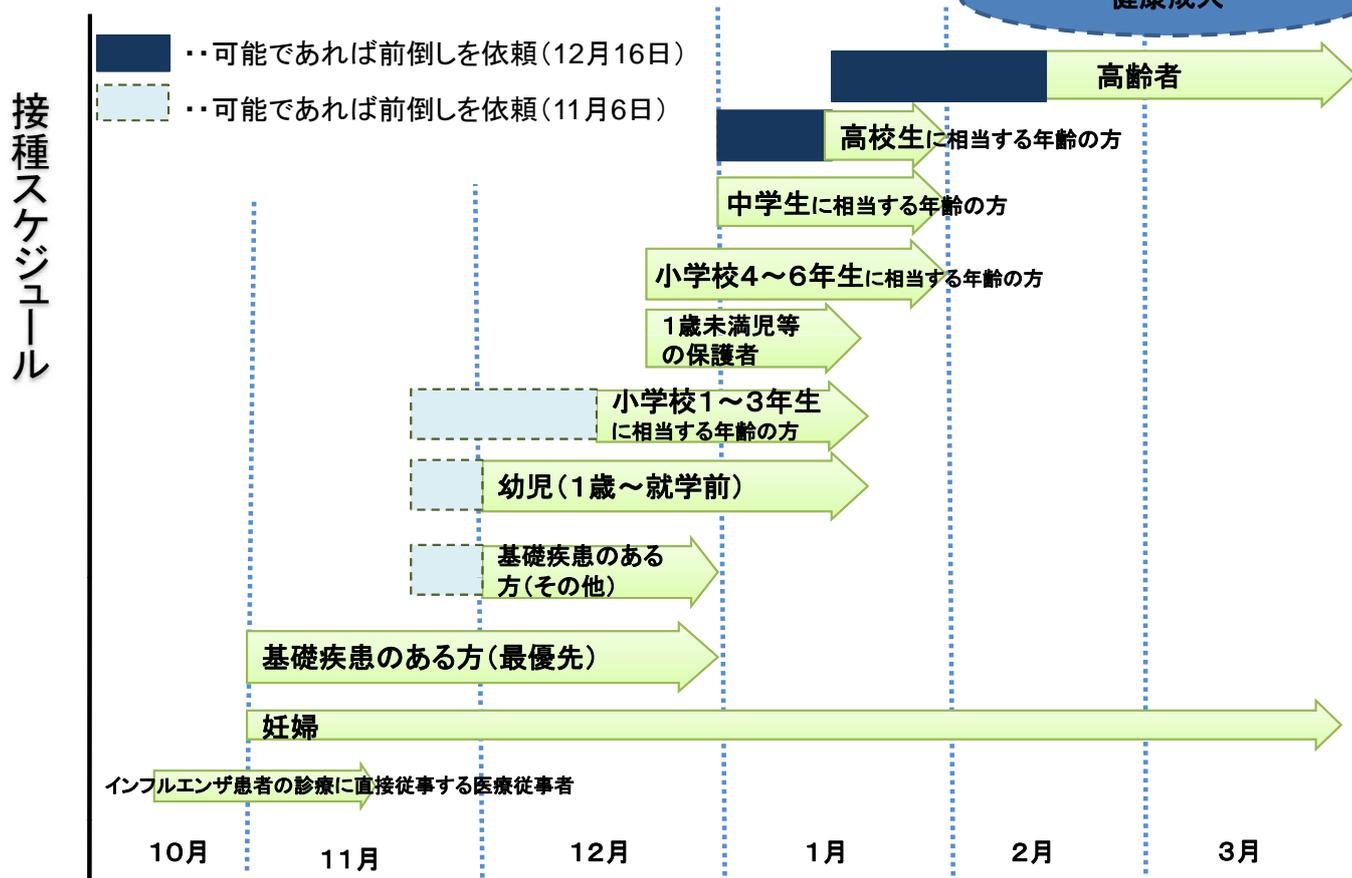
(参考)国内産ワクチンの接種回数について(12月16日公表)

○「13歳未満の者」については、2回接種

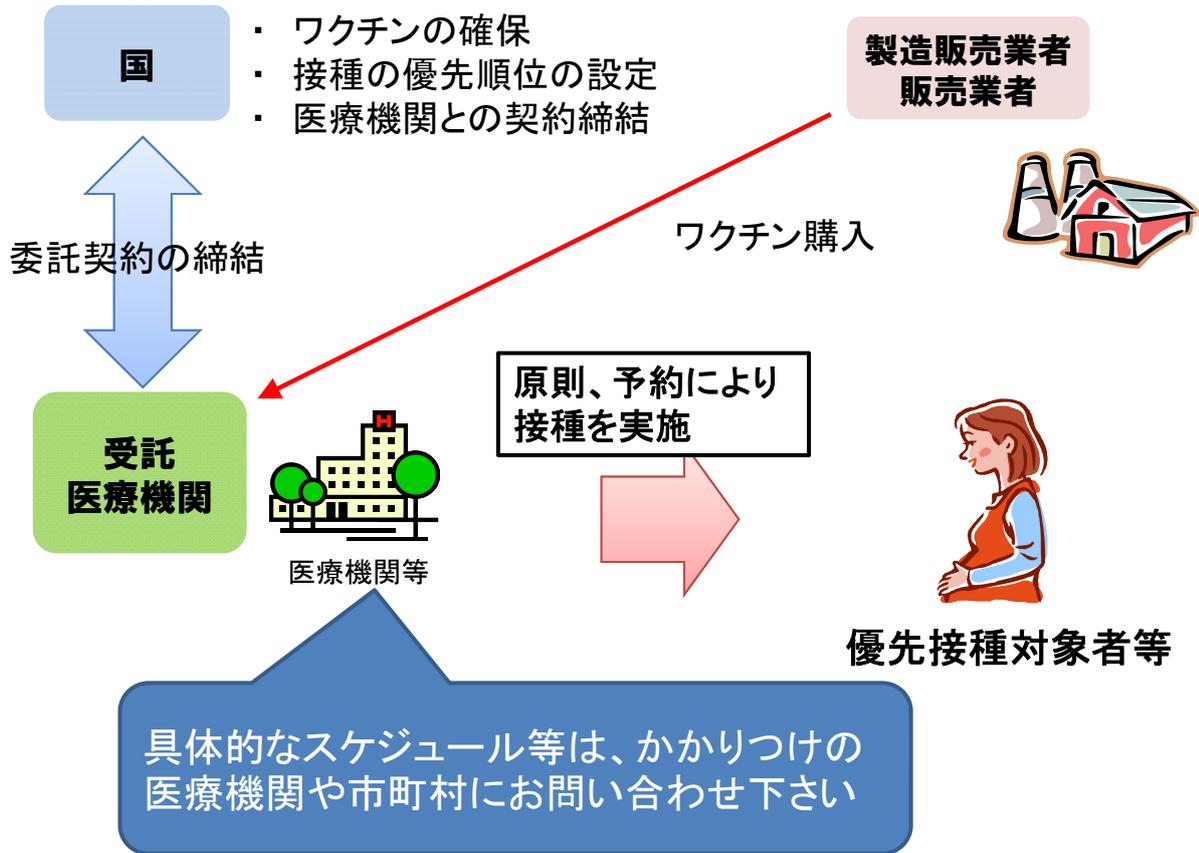
○上記以外の者については、免疫機能の低下した基礎疾患を有する方を除き、1回接種

接種スケジュールの目安

○ 国が示している標準的接種スケジュールであり、地域によって異なる。



ワクチン接種事業のスキーム



接種体制の概要

